

大学の先生方が執筆された  
新刊情報をお届け！

2026 SPRING

04

半田 滋 (言語文化学科非常勤講師) 著  
『半田滋の新・安全保障論「安倍政治」の現在地』  
あけび書房 2025年11月  
本体2200円(税別)



高市政権は「安倍政治」の再来か? 第二次安倍政権後の菅・岸田・石破政権の軍拡路線を検証する『週刊金曜日』好評連載を全て掲載。

08

森 勇 (名誉教授) 編著  
『ドイツ弁護士職業法研究』  
中央大学出版部 2025年12月  
本体8300円(税別)



本書は、「憲法秩序と弁護士職業法」を道しるべとしたドイツ弁護士職業法上の課題に関する一連の論考を収録するとともに、わが国ではこれからの課題となる「訴訟ファイナンス」について取り上げます。

12

倉林 秀男 (交流文化学科非常勤講師) 解説  
『世界の視点を読む ニュース英語入門 2026年版』  
ジャパンタイムズ出版 2026年1月  
本体1200円(税別)



1年の国内・海外ニュースを英語で振り返ります。英文と語彙の理解に役立つ解説つきで、最新の国際情勢に触れながら英語力を伸ばしたい方に最適。ニュース英語の特徴、分野別重要語彙リスト(用例つき)、目的別おすすめ学習法など、記事以外も充実の一冊です。

16

木藤 茂 (法律学科教授)、服部 麻理子 (総合政策学科教授) 分担執筆  
『高橋滋先生古稀記念論文集 社会の変革と行政法学』  
弘文堂 2026年2月  
本体16000円(税別)



高橋滋法政大教授(一橋大学名誉教授)の古稀を記念して出版された記念論文集。木藤教授は、行政責任の憲法上の定位をめぐる日本国憲法65条・66条3項・73条の整合的解釈の試論を、服部教授は、行政上の制裁に関するフランス法の状況を概観する論考を、それぞれ献呈しています。

01

野村 容康 (経済学科教授) 分担執筆  
『テキストブック租税論 [改訂版]』  
創成社 2025年9月  
本体3600円(税別)



現代社会を支えるための税制はどうあるべきか。税に関する基礎理論から実施面での課題まで徹底解説。最新の税制改正やその後の議論の動向を反映するとともに、「課税の簡素性」に関する章を新たに追加した最新版です。

05

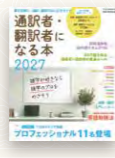
犬井 正 (名誉教授) 著  
『三富新田風土記 耕田林園から世界農業遺産へ』  
さきたま出版会 2025年11月  
本体2200円(税別)



食の安全と環境を守る伝統的農業システムを今世界が注目。日本の農業のありように一石を投じる。所沢市、三芳町にまたがる三富新田の歴史を紐解き、江戸時代から現在まで、何世代にもわたり受け継がれてきた「落ち葉を使った堆肥で土地改良を行う農法」を未来につなぎます。

09

柴原 早苗 (英語学科非常勤講師) 分担執筆  
『通訳者・翻訳者になる本2027』  
イカロス出版 2026年1月  
本体2000円(税別)



初心者からプロの通訳者・翻訳者になるまでの道のりを、段階的にやさしく解説した入門MOOK。第一線で活躍する通訳者・翻訳者11名にインタビューした「仕事のやりがいや現場のリアル」、50万部のヒット書籍を生み出す編集者が語る「翻訳者に求められる力」など、現場の最新情報と確かなノウハウを凝縮しました。

13

宗田 貴行 (国際関係法学科教授) 著  
『優越的地位の濫用と私法理論』  
法律文化社 2026年1月  
本体6800円(税別)



日常生活において、サブスクリプションや公共料金が不当に値上げされたと感じることはないでしょうか。EUを参考に、そのような不当な値上げにつき、サービス提供者の消費者に対する優越した地位の濫用として、私法上信義原則に基づいて規制する方法を提言します。

17

松本 健太郎 (英語学科教授) 共著  
『デジタル時代の妖怪学 不可視のものを可視化する営為』  
笠間書院 2026年3月  
本体3800円(税別)



現代の妖怪や怪異は、スマホやインターネットなどのデジタル技術によって可視化され、恐怖の増幅させるリアルな存在として立ち現れます。現代における妖怪の在り方を通して、現代社会とそこに生きる人間の姿が浮かび上がる。

02

吉川 信将 (法律学科教授) 分担執筆  
『下級審商事判例評釈 第一巻(平成二一年〜二五年)』  
慶應義塾大学出版会 2025年10月  
本体13300円(税別)



慶應義塾大学商法研究会による「下級審商事判例評釈」シリーズの11冊目。紀要「法学研究」に掲載された平成21年から25年の下級審商事判例評釈54件を収録。企業社会の「今」を映し出す多様な下級審商事判例の研究を通じ、商法のあるべき法理を追究します。

06

清水 雄大 (フランス語学科非常勤講師) 共訳  
『ミシェル・フーコー講義集10 主体性と真理』  
筑摩書房 2025年12月  
本体6300円(税別)



性道徳が変わらずとも、それを生きる主体の真理は変わっていく。古代の性道徳はいかなる仕方で経験されてきたのか。古代ギリシア・ローマとキリスト教とは性の経験がどう変化したのか。古代文献の精緻な読解によって、フーコーは性、主体、真理をめぐる経験の変容を浮かび影にします。

10

玉井 昇 (交流文化学科教授) 編著  
『教科書が伝える日本統治と戦争の記憶 ミクロネシアと周辺地域の歴史教育比較』  
明石書店 2026年1月  
本体3000円(税別)



日本によるかつての支配や戦争の記憶はどのように形成されてきたのか。太平洋島嶼国・地域における日本統治時代と第二次世界大戦期に焦点を当て、歴史教科書を比較分析することで、そうした記憶がいかに継承・再構成されてきたかを明らかにします。

14

高橋 均 (名誉教授) 著  
『監査役監査の実務と対応(第9版)』  
同文館出版 2026年1月  
本体4200円(税別)



法的論点を踏まえ、監査方針・計画の策定から期中・期末に至るまでの報告書の作成・公表まで、豊富な様式や事例とともに詳解。実務上の最新情報やトピックを踏まえて改訂した最新版。法制度と実務の両面から解説しており、多くの読者から支持を得ているバイブル的書籍。

18

和田 一郎 (言語文化学科教授) 著  
『大人になっても消えない重荷を抱える人のための生きづらさの手放し方』  
KADOKAWA 2026年3月  
本体1600円(税別)



本書は、近年のデータサイエンスで明らかになったACEs(逆境的小児期体験)を軸に、過去の傷がどのように現在の心身、そして人生の選択に影響を与えているかを解き明かします。生きづらさを抱える自分を責め、一人で頑張り続けるのではなく、自分を育てる旅とおとして回復への道へ導く一冊です。

03

齊藤 毅 (言語文化学科非常勤講師) 著  
『石原吉郎の詩の構造 他者、言語、世界』  
法政大学出版局 2025年11月  
本体3800円(税別)



シベリアの強制収容所を生き延びた詩人・石原吉郎(1915~1977)。難解で知られる詩人のテキストの「構造」に初めて全面的に焦点をあて、解きほぐす画期的な試み。詩の構造を精緻に分析することでしかその核には迫れない。生誕110年、石原作品読解の到達点となる1冊。

07

石井 保雄 (名誉教授) 著  
『沼田稲次郎の労働法学 その思索と生涯』  
旬報社 2025年12月  
本体7000円(税別)



戦後労働法学は80年に近い時間を重ねてきた中で、当初から大きく二つの理論的潮流が対抗していたといわれます。本書は、その潮流のひとつである「プロレーバラー労働法学」をけん引し、多くの労働法学者の支持・共感を集め、学界の主流を占めた沼田稲次郎(1914~1997年)の研究の軌跡を通じ、その思索と生涯を追った研究書です。

11

北野 収 (交流文化学科教授) 訳・解説、(スティーバート・エロル・シーベ) 著  
『労働者協同組合とフェアトレード 一地域と世界をむすぶ運搬ビジネス』  
彩流社 2026年1月  
本体3500円(税別)



協同組合運動の聖地カナダ・ノバスコシア州で育まれた歴史と思想を背景に、ジャストアズ・トゥ・ビーンズ組合の誕生と試行錯誤、創業者の葛藤、フェアトレードの理念や組織の成長・継承、メキシコ・オアハカ州のUCIRI組合(国際認証制度発祥団体)との関係を通じ、協同の意味と連帯経済の可能性を考えます。

15

渡部 奈々 (言語文化学科非常勤講師) 分担執筆  
『現代ラテンアメリカ社会を知るための47章』  
明石書店 2026年2月  
本体2400円(税別)



水質汚染、採掘主義、国家暴力、グローバリズム、マイノリティ差別といった、ラテンアメリカで現在進行中の社会問題について、ポスターレスな経済圏や文化の中でローカルに連帯し、つながる人々の生き方をミクロな視点から捉えつつ、これまでの国家や枠組みの在り方を問い直します。

19

福永 文夫 (名誉教授) 著  
『日本社会党 一「戦後革新」とは何だったのか』  
岩波書店 2026年3月  
本体1200円(税別)



戦後日本の政党政治は、日本国憲法の制定と日本社会党の有力政党化によって象徴される。社会党は護憲と安保反対を主張し、長く野党第一党として自民党に対峙し、戦後史を形成してきた。やがて冷戦の終焉とともに政治の舞台から退場した。本書は「戦後革新」とは何だったのか、もう一つの戦後政治史を紐解きます。

父母の会助成 キャンパスメンバーズ&大学パートナーシップ  
芸術・文化に触れよう! ——文化施設利用制度のご案内

学生証の提示で美術館・博物館等への入場が無料(割引)になります。



東京国立近代美術館  
1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。  
東京メトロ東西線 竹橋駅下車



国立科学博物館  
日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているものを含め、収蔵品の数は500万点を超える。  
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



彩の国さいたま芸術劇場  
1994年オープン。の劇場。シェイクスピア全37作品を上演した「彩の国シェイクスピア・シリーズ」をはじめ、質の高い演劇、舞踊、音楽公演を実施している。  
JR埼京線 与野本町駅(西口)下車



東京国立博物館  
日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。  
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



江戸東京たてもの園  
都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。  
JR中央線 武蔵小金井駅下車



草加市文化会館  
草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。  
東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅下車

- その他、下記施設でも制度が適用されます。
- 国立科学博物館 附属自然教育園 ▶筑波実験植物園 ▶国立劇場(閉場中) ▶国立工芸館(石川県金沢市) ▶国立西洋美術館
  - 国立新美術館 ▶国立映画アーカイブ ▶江戸東京博物館 ▶東京都美術館 ▶東京都現代美術館 ▶東京都写真美術館
  - 東京都庭園美術館 ▶東京芸術劇場 ▶東京文化会館 ▶埼玉会館
- 制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。  
※特典内容、開館時間、休館日等の詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。(大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り Vol.118

大学生活の中心、図書館へ行こう!

新年度がスタートして、1か月が経ちました。皆さん、図書館をもう利用しましたか? 図書館では資料の利用提供以外でも、皆さんの学習を様々な形でサポートしています。大学生活の中心となる図書館に行ってみよう!

STEP 01 入館・退館

出入口は、1~3階の各階にあります。ゲートに学生証をかざして入館します。  
※1~3階は開館時間中、2階は授業期間の平日10:00~17:30に利用できます。



STEP 02 資料の配置

100万冊を超える資料を所蔵しています。同じテーマの図書・雑誌・参考図書は、同じ階に揃っているので、特定分野の資料を探しやすいのが特長。自分の学部学科に関する資料の場所を確認しよう。資料は自動書庫にもあります。

3階	芸術、言語、文学
2階	社会科学、自然科学、技術・工学、産業
1階	総記、哲学、歴史

STEP 03 貸出・返却

資料と学生証を持って、メインカウンター(1階)または3階カウンターで手続きを行ってください。1階には、学生証をタッチしてセルフで貸出できる便利な「自動貸出機」もあります(返却は不可)。

区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生	20冊	14日 (図書・雑誌共通)
大学院生	30冊	図書:30日 雑誌:14日

STEP 04 資料相談

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター(1・2階)で相談しよう。レポート・論文の書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。MyLibrary経由でオンラインからでも質問できます。気軽に利用してください。

STEP 05 閲覧席

個人利用にもグループ利用にも対応した、多種多様な閲覧席を用意しています。学習スタイルに合わせて、利用してください。お気に入りの席を見つけよう。



★図書館学生サポーター「BiVS(ビボス)」

さまざまな学部・学年のメンバーが集まって、資料の展示などを企画・実施しています。現在、新メンバーを募集中!一緒に図書館を盛り上げる活動してみませんか?



図書館 X



獨協大学 図書館